

意見交換会の概要

- 【参加者】道の駅整備推進事業について、販売できるものはあるのか。赤字にならないかという話を聞くが、市の健全財政の観点も踏まえ、実態はどうか。議会でも予算審査の中で議論はされたのか。
- 【委員】予算審査の中では、商工費の審査でオリジナルブランドの検討状況ということで議論があった。また、総括質疑でオリンピックとの兼ね合いもありタイミングというのも大切なので、遅れないようにしっかり平成31年7月にオープンをしてほしいという要望はした。
- 【参加者】広報紙に野球場の駐車場を有料にするという記事があったが、現在、テニスコート、市民文化会館など近辺の駐車場は全て有料となっている。市内の駐車場は全て有料となりつつある。それにより増収は見込めるが、利用者としては、行動が限定されてしまう。市内の公的な駐車場を有料にすることで、どのくらいの増収が見込めるか見解を伺う。
- 【委員】駐車場だけではなく、一般会計予算の中の使用料及び手数料という項目では、平成29年度と比べると平成30年度は、約5800万円の増収となっている。
- 【参加者】もう少し見込めると思ったが。
- 【委員】公共施設の駐車場の有料化については、公共施設を使わない方が駐車場を利用し、本当に施設を使いたい方が駐車できないということがあった。その問題を解決するため、駐車場を有料とした。施設を利用した方には減免という制度もある。現在、市役所近辺の駐車場は整備し有料としているが、今後、幅を広げさまざまな施設の駐車場を有料化し、市民の利便性を図ろうとしている。歳入ありきの有料化ではなく、今後は、施設1つ1つを考え、どのようにすれば利用者が増えていくか減免も含め議論を重ねていく。
- 【委員】受益者負担の市町村間の比較は難しい。3年ほど前から各市町村は公企業会計という制度をとり、比較ができつつある。それにより、いくらかの受益者負担がよいのか、将来の負担も含めて検討が可能となる。これからは受益者負担としての一層の検討が進むと考えている。
- 【参加者】道の駅は原則無料であるが、柳島スポーツ公園は有料となっている。有料と無料が同じ地域に混在した時に、どのように対処していくか。その点も検討してほしい。
- 【委員】意見として承る。
- 【参加者】美術館では、高齢者は無料、ゆかりの人物館では有料、その差がどこから出てきているのか。一緒に見直すのが普通ではないか。受益者負担は、税の二重負担で裁判にもなっている。どれが税金でやってよいのか、どれから負担をとってよいのか、どんな時でも議論してほしい。ごみの有料化も含めて議論を進めてほしい。

- 【委員】環境厚生常任委員会では、安易なごみの有料化では、ごみの減量化にもつながらない。また、市民の負担も増すばかりと認識している。これから提言書をまとめ、今年の秋頃には提言書としてまとまるので、意見交換会で出された意見を参考にしながら検討をしていきたい。
- 【参加者】紹介文書のない患者の診察に係る使用料を大幅に上げることは、あってはならない。厚生労働省に適用除外の陳情を提出してほしい。400床の枠を取りやめてほしい。別棟を建設すると言っているが、いつ完成するのか。
- 【委員】病院の別棟建設については、旧市立病院の基盤が下に残っていたため、それが原因で予定より9カ月ほど工事が遅れることとなっている。
- 【委員】使用料の増額については、厚生労働省の指針に基づき、やむやむ市も適用した。今年の9月から増額となるが、市民として身近なかかりつけ医をもっていたきたいということから数年前から意向があった。かかりつけ医の紹介があれば費用はかからないので、ご理解いただきたい。
- 【委員】稼働率が悪いことは納得できないが、病院では、電子カルテの導入により入院患者の抑制を図っていたと説明している。
- 【委員】初診料の増額については、国が決定したことなので、市では反発できない。国の決められた基準というのが、病院の病床によってその大きさが決められる。それによって紹介状のなかった初診料が発生する。初診料の増額については、議会でも議論した。国の方針に反旗をふるうことはできない。
- 【委員】今まで市立病院は、病診連携ということで、近くの病院で基本診察してもらい、第2次救急に専念したいということで紹介料等も徐々に上げてきた。紹介状なしで市立病院に来られると病院は赤字になる。病院経営の改善も考える必要もあるので、反旗をふるうことではないと考える。

【参加者】柳島スポーツ公園がオープンしたが、最寄り駅はおそらく平塚駅である。せっかく茅ヶ崎市が建設したのに、このままでは平塚市に収益が入るのではないかと。何より中島地域にはバスがない。どうしてスポーツ公園と道の駅があるのにバス路線を延長しないのか。それで集客できれば、道の駅等で赤字になっても補填はできるのではないかと。

民間病院は、自前でバスを出している。茅ヶ崎市立病院でも自前でバスを出すことはできないか。

【委員】コミュニティバスは、もともと市立病院を中心に乗り換えていただくことをコンセプトに作っている。本来なら、コミュニティバスが市立病院を経由するバスとなるが、今後改善する必要はあると考える。

柳島スポーツ公園に関して、費用をとって沿線を作るというのは、国土交通省の許可が必要などかなりハードルが高く難しいと聞いている。現在、無料で周回しているバスについては、費用を取りたいが難しく、やむを得ず無料ということにしている。柳島スポーツ公園については、プロポーザル入札の時に、他よりも約3億円

高く、それは無料で周遊バスを出すとしているからである。開園時には難しいが、来年までには、無料で周遊バスが出されるものと考えている。議員からも要望はしている。

【委員】柳島スポーツ公園の最寄り駅が平塚駅ということに関して、道の駅は神奈川県で2番目の道の駅ということで市民の期待も高く、周辺にコミュニティバスや神奈中バスなどを走行させることは要望している。圏央道が開通し、北関東などから集客が見込めるものと考えており、アクセス等は状況を見ながら検討していくべきと考えている。

【参加者】平塚市は、反対で道の駅はできなかった。その前の公園建設にしても賛成・反対で議論している。議論をしてよいものを作ってほしい。茅ヶ崎市では青物市場が縮小したりしていることも踏まえて、議論してほしい。道の駅に限らず、駐車場がどうあるべきかも検討してほしい。

【委員】意見として承る。

【参加者】柳島スポーツ公園は、業者が駐車料金をとっている。市民文化会館はどうするのか。指定管理の業務は従来と変わらないのに、駐車料金を取るようになったら、その料金は指定管理者にいくことはないか。

【委員】指定管理となった施設の駐車場の収益については、用地管財課の範囲となるが、その指定管理のところに入るのか、公共スペースとして市独自の委託になるのかについてはしっかり確認する。駐車料金さえも指定管理者に入るのであれば、それなりの指定管理の方法をとらなければいけない。

【参加者】高齢者の実態調査について、住民基本台帳に則って、全世帯を調査しようとしているが、なぜ高齢者だけ住民基本台帳に則って調査するのか。他のものは全て抽出である。また、訪問調査についても人権侵害ということで嫌がる人がいる。その配慮を充分にしてほしい。民生委員のなり手が少ない中で、調査を民生委員にさせるのか。

【委員】出向いていく福祉ということで陳情を採択したこともある。現在、国をあげて地域包括ケアシステムを構築しようとしている。ハードルは高いが、その構築ができれば、改善されるものと思われる。また、調査時に高齢者の人権に配慮するのはもったいである。

【委員】高齢者又は障がい者に限らず、お互いさまの地域の見守りができていたら、調査というものなかったと思うが、大災害時など、どこの家に誰が住んでいるのか分からないと困る。もちろん人権を守りながら、把握できない部分をフォローし、しっかりとらえてやっていく。

【委員】高齢者の実態調査は、民生委員がやっているが、聞き取りは100%ではない。なり手が少ない中で、民生委員が尽力し調査している。高齢者に限らず、把握できていない実態を全て民生委員に依頼するのか、負担もあるので、地域でどう支えるか、

また行政のサービスにどうつなげていくかは今後の課題としたい。75歳の実態調査は、これはこれでやっていくしかない。

【参加者】 調査の対象が、以前は65歳以上であったが、なぜ75歳以上に変更となったのか。

【委員】 民生委員の話によると、全てを回りきるのは難しいため、75歳以上となった。